

建設特化型 World Modelによる現場の供給力不足の解消（Zen Intelligence株式会社）



所在地	創設年	創設者名
東京都中央区	2020年	野崎 大幹

パートナーVC	直近の資金調達ラウンド	企業価値
インキュベイトファンド株式会社	シリーズA	非公開

会社連絡先：
電話 : 050-1782-0632
e-mail : info@zen-intelligence.ai

ホームページリンク : <https://zen-intelligence.ai/>

○事業概要
弊社は、「Physical AI で基幹産業を変革する」という理念の下、AI /3D Computer Vision/ ロボットの研究者や開発者が集まるテックスタートアップである。目指すのは、供給力不足によって構造的 な危機に直面する建設業を含むリアル産業に、持続的な競争力と付加価値をもたらすことである。これにより、労働集約から知能集約へと転換された“強靱なエッセンシャルサービス”が国の生産性を底上げし、日本企業がその強みである現場力と AI を融合させ、世界のマーケットの牽引を目指していく。
本研究開発では、建設業の構造的な供給力不足と属人化を解消し、経験によらず高品質な管理・施工が可能になる世界の実現を目的として、現場の3D空間と図面・マニュアルの整合性を高精度に自動判定する「建設特化型World Model」を開発する。

○事業内容
本研究開発では、既存プロダクト「zenshot」の累計導入 8,000 件超の現場から収集した高精度な360度動画・図面データを基盤に、「建築特化型 World Model」を開発する。それにより、現場監督も現場作業員も「技量や経験値によらず」「どのような現場でも」「高い品質で」管理・施工を実現できるようになることで、建設業界の構造的課題の解決を図る。
①建設現場に特化した 3D 空間生成モデルの開発
②図面・施工マニュアルの認識・意味理解をするマルチモーダル AI の開発
③現場の 3D 空間と図面・施工マニュアルの整合性を判定するマルチモーダル AI の開発
上記の開発を、ハウスメーカーとの PoC 等を通じて実施し、助成事業終了時には大手ハウスメーカー含む 10 社以上にて、実際の現場への zenWorld の試験導入を実現する。

事業領域・分野	事業年度	交付決定額	海外技術実証
情報・通信	STS 2026～2027年度	493百万円	—